

2025年度 近畿大学 推薦理系 第2問

問題 数学の小テストを3回行った。点数は0点以上10点以下の整数である。

(1) 下の表はAからJの生徒10人に対して実施された1回目のテストのデータである。

生徒	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
点数	9	6	1	10	8	5	7	2	i	j

この10人の点数の平均値は6点、分散は9であった。ただし、Iの点数 i はJの点数 j より高かった。AからHの生徒8人の点数の平均値は 点であり、分散は である。 $i =$, $j =$ である。1回目のテストのデータの第1四分位数は 点、中央値は . 点、第3四分位数は 点である。

(2) 下の表はAからJの生徒10人に対して実施された2回目のテストのデータである。

生徒	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
点数	9	b	c	7	8	9	7	h	7	7

この10人の点数の平均値は7点、分散は2で、Bの点数 b とHの点数 h は同じであった。 $b =$, Cの点数 c は $c =$ である。

(3) 3回目のテストでは、AからJの生徒に加え、KとLの生徒2人が受験した。下の表は3回目のテストのデータである。

生徒	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L
点数	2	4	8	4	7	7	4	5	4	5	k	l

CからLの生徒10人の点数の平均値は、AからJの生徒10人の点数の平均値より1点高かった。また、CからLの生徒10人の点数の分散は3であった。Kの点数 k はLの点数 l より高かった。 $k =$, $l =$ である。AからLの生徒12人の点数の平均値は . 点である。